

移民と和歌山 ギャラリートーク&シンポジウム

2015年11月3日(火・祝) 13:30~16:30

会場：和歌山県立近代美術館

■ギャラリートーク「アメリカ移民の歴史と芸術家たち」

13:30~14:30

■シンポジウム「移民をめぐる和歌山の今とこれから」

14:50~16:30

和歌山県は、全国で6番目に多くの海外移住者を送り出した移民県です。明治期より多くの和歌山人が、ハワイ、アメリカ西海岸、カナダ、オーストラリア、ブラジルなどへ向けて海を渡りました。現在、和歌山大学紀州経済史文化史研究所を中心に、和歌山県内の各機関・団体が連携して、移民に関する記録や記憶を保存し、次世代へと継承する取り組みを行っています。今回の和歌山県立近代美術館での特集展示「アメリカ移民の歴史と芸術家たち」も、本研究所と美術館が共同し、太地町歴史資料室、那賀移民史懇話会の協力を得て開催します。ギャラリートークでは、この展示についての解説をおこないます。シンポジウムでは、さらに広く移民をめぐる和歌山の今とこれからについて意見交換をおこないます。

[主催] 和歌山大学紀州経済史文化史研究所、和歌山県立近代美術館
[助成] 平成27年度文化庁 地域の核となる美術館・博物館支援事業



■ギャラリートーク「アメリカ移民の歴史と芸術家たち」

時間：13:30～14:30

会場：和歌山県立近代美術館 1階展示室

特集「アメリカ移民の歴史と芸術家たち」コーナーにて(要観覧券)

解説：梅田律子(那賀移民史懇話会)、櫻井敬人(太地町歴史資料室)、奥村一郎(和歌山県立近代美術館)、東悦子(和歌山大学)

敬称略

■シンポジウム「移民をめぐる和歌山の今とこれから」

時間：14:50～16:30

会場：和歌山県立近代美術館 2階ホール(入場無料)

定員：120名(先着順)

基調報告「和歌山における移民をめぐる5年間の取組みを振り返って」

東悦子(和歌山大学)

パネルディスカッション「現在の取組み状況と今後の展望」

◎パネリスト：櫻井敬人(太地町歴史資料室) 亀井勝博(公益財団法人和歌山県国際交流協会)
迫間脩(和歌山県中南米交流協会) 奥村一郎(和歌山県立近代美術館)

◎コーディネーター：東悦子(和歌山大学)

敬称略

関連事業

和歌山県立近代美術館

和歌山市吹上1-4-14 TEL:073-436-8690

特集 アメリカ移民の歴史と芸術家たち 2015年9月19日 [土] - 12月6日 [日]

アメリカ移民の歴史と関わりのある4人の芸術家、
いしがきえいたろう 石垣栄太郎(1893-1958/太地町出身)、はまじせいまつ 浜地清松(1885-1947/串本町出身)、
すぎもと へんりー 杉本(1900-1990/和歌山市出身)、やすだりゅうもん 保田龍門(1891-1965/紀の川市出身)
の作品を、和歌山県のアメリカ移民の歴史を語る資料とともに展示。

[会場] 和歌山県立近代美術館 1階展示室
[開館時間] 9時30分-17時(入場は16時30分まで)
[休館日] 月曜日(ただし9月21日、10月12日、11月23日は開館し、9月24日、10月13日、11月24日休館)
[観覧料] 一般340(270)円、大学生230(180)円
()内は20名以上の団体料金
*高校生以下、65歳以上、障害者、県内に在学中の外国人留学生は無料
*毎月第4土曜日は「紀陽文化財団の日」として大学生無料
[主催] 和歌山県立近代美術館、和歌山大学紀州経済史文化史研究所
[協力] 太地町歴史資料室、那賀移民史懇話会
[助成] 平成27年度文化庁 地域の核となる美術館・博物館支援事業



1



2



3



4



5



6

- 1.石垣栄太郎《街》1925
- 2.ヘンリー杉本《Longing(切望)》1968
- 3.保田龍門《母の像》1915
- 4.浜地清松《暖炉》1911
以上、和歌山県立近代美術館蔵
- 5.ツナ缶「イトウエル・カリフォルニア・マカレル」
太地町歴史資料室蔵
- 6.鞆型移民トランク
和歌山大学紀州経済史文化史研究所蔵



和歌山大学紀州経済史文化史研究所

和歌山市栄谷930

お問い合わせ TEL 073-457-7891